末田まさひこ 市政ニュース

No.26 2012.1.
発行：日本共産党
倉敷市議会議員団
倉敷市西中新田 640
TEL086-426-3767

庶民大増税に反対し、憲法を守りぬきます。

日本共産党倉敷市議会議員 末田 正彦 sueda@mx7.kct.ne.jp TEL086-470-0662 FAX086-470-0668

11 月定例市議会報告

（１１月３０日～１２月１６日）

11月定例市議会は、2011年度一般会計補正予算案、2010年度各会計の決算認定、条例案など50議案を議決しました。

一般会計では、追加補正（減額）を含め2億6，152 万円の増額となり、累計では、1，768億1，536万円（前年度同期比102．2％）となっています。全体では、特別会計、財産区会計の補正を含め、総額3，400億3，884万円（前年度同期比104．0％）の予算規模となりました。

今回の補正予算は、道路の新設や改良、下水道の整備などの国庫補助事業のほか、琴浦園の空調設備、屋内水泳センターのプール天井など公共施設の修繕・改修費が計上されています。

また、中庄地内に新たに47区画の市民農園を整備する事業費も計上されています。

一般質問に立つ末田正彦議員

倉敷市提案の倉敷市子ども条例については、第4条で「子どもの主体性」の形で、責任を子どもに押し付け、国連の「子どもの権利条約」（1989年採択）の理念に背くものになっており、党市議団は条例案に反対しました。「子どもの権利条約」には、子どもの生存、発達、保護、参加という包括的な権利を実現・確保するために必要となる、具体的な事項が規定されています。

フォト日誌

10月１日　柳田保育園運動会

10月30日　第31回岡山県赤旗まつり模擬店参加

無料生活相談：毎月第１，第３水曜日（公務等で日程変更の場合あり）　9:30～12:00　日本共産党児島後援会事務所にて
お気軽にご連絡ください。TEL086-470-0662

11月定例市議会、末田まさひこの一般質問から

2011年12月6日登壇
質問内容の一部を抜き出して編集

扶養控除廃止と保育料

「影響を生じさせない方向で検討する」

保健福祉局長が答弁

子ども手当、高校授業料無償化の財源として導入された、所得税及び住民税の16歳未満の扶養控除の廃止と、16歳から18歳までの特定扶養控除の上乗せ部分の廃止が、所得税は既に2011年4月から実施され、住民税は2012年6月から実施されます。扶養控除廃止で、保育料が上がる、ひとり親家庭等医療費の助成が受けられないおそれが出るなど、各種の制度に影響が及びます。その対策を求めて質問しました。

【質問】税金の集め方は、所得に応じて税金を納める応能負担原則と、最低限度の生活を保障するために、生活費には税金をかけない生計費非課税が基本と考えている。手当の財源としての扶養控除の廃止は認められないと申し上げてきた。

扶養控除の廃止により、年収400万円で、小学校と3歳未満児の2人の子供がいる4人世帯で、保育料が年間15万6，000円増加するとの試算が示されている。負担増に対して、どう対応していくつもりか。

【答弁】黒江庄平保健福祉局長は、「扶養控除の見直しによる保育料への影響をできるだけ生じさせない方向で検討する」と答えました。

東日本大震災がれき

「現時点では、災害廃棄物の受け入れはできない」

環境リサイクル局長が答弁

【質問】倉敷市は、ガス化溶融炉での処理のため、複雑さがある。東日本大震災で発生した瓦礫受入に対する今後のスタンスは。

【答弁】物部健二環境リサイクル局長は、「溶融処理からの再資源化物の安全基準は、明確に示されていない。現時点では、災害廃棄物の受け入れはできない。今後とも、市民の健康と安全を第一に考え、慎重に対応していきたい」と答えました。

福島第一原発事故と学校給食の安全

「地場産物の使用割合は、県内第1位。今後とも、安全な給食の提供に努めていく」

教育次長が答弁

【質問】東電福島第一原発事故が起こり、市民から、「倉敷市の学校給食は、放射能汚染に対して大丈夫なのか」という質問が寄せられた。放射能汚染から学校給食を守るため、安全をどのようにして担保しているのか。

【答弁】橋本篤男教育次長は、「倉敷市の学校給食では、お米は市内で生産されたヒノヒカリを使用し、パンは外国産小麦と県内産米粉を使用

10月31日　来年度予算編成にあたっての要望

11月3～7日　東日本大震災ボランティア（宮古市）

狆のはなちゃん

した岡山県独自の「岡山っ子こめこパン」を提供している。牛乳も県内で生産されている牛乳を使用し、野菜などの副食については、極力地場産物を使用している。平成22年度の地場産物の使用割合は、県内第1位。今後とも、安全な給食の提供に努めていく」と答えました。

市立児島市民病院について
「施設整備について、平成24年度末までに方向性を示していきたい」

保健福祉局長が答弁

11 月 25 日開催の倉敷市立児島市民病院改革プラン評価委員会で、2011 年度は赤字になる見込みが発表されました。真摯な分析、対応と今後の施設整備に向けての方向性を質しました。

【質問】 11月29日付山陽新聞に、「黒字化本年度厳しく」との見出しで、赤字の原因として、「人件費の負担が大きい」との院長コメントが掲載された。人件費の問題は、改革プラン策定時に既に織り込み済みの問題ではないのか、当局の真摯な分析、対応を求める。

また、施設整備に向けての今後の取り組みを示されたい。

【答弁】 黒江保健福祉局長は、「赤字の主な要因は、倉敷市立児島市民病院改革プランに掲げた医師の目標数が、招へい出来なかったことが考えられる。施設整備については、平成24年度末までに方向性を示していきたい」と答えました。

住宅用太陽光発電の普及を「“おひさま０円システム”長野県飯田市の取り組みに学べ」

【質問】 「おひさま0円システム」は、おひさま進歩エネルギー株式会社を事業主体とし、市民などからのファンドによる資金、市内の金融機関の低利融資、行政の補助など、地域との協力協同で行われている。市内の住宅に、2.2kwから 4.4kwの太陽光発電を0円で設置し、毎月1万4，200円から2万1，900円を9年間支払う仕組みで、太陽光発電の普及を進めていく。9年間の支払いが終わると、無償で住宅所有者のものになる。

太陽光発電は、設置の初期費用が高額なため、二の足を踏んでいる市民は多い。本市でも、飯田市のように、地域の市民団体などと協力協同して、住宅用太陽光発電を普及する取り組みを行ってはどうか。

【答弁】 物部環境リサイクル局長は、「市民団体や民間企業との協同による太陽光発電設備の普及は必要であると認識しており、今後、どのような協同ができるか研究したい」と答えるにとどまりました。

11 月 12 日　児島市民病院清掃ボランティア

11 月 23 日児島ﾏﾘﾝ・緑丘地区社協合同健康ｳｫｰｷﾝｸﾞ

再生産可能な都市農業をめざして「“生産緑地制度”の実施で市街化区域農地の保全と農家の経営を守れ」

【質問】11月22日にJA倉敷かさや、JA岡山西、倉敷市の農業を考える会が、倉敷市と2度目の交渉、懇談をもち、農業継続を困難にしている市街化農地の高すぎる固定資産税の軽減と、生産緑地制度の実施を求めた。そこでは、「地産地消、安全・安心な食料供給など、農業振興は我々の仕事。だが、高い固定資産税が一番の問題」「とれたものより多くとるのは、百姓を食い物にしている」「台風 12 号で浸水被害が出たが、田んぼが被害を軽減した。公園をつくれば管理に予算がかかるが、田畑は百姓が自分で管理して美しい風景をつくっている。こうした公益性をどう評価しているのか」との訴えが出された。当局は、これまでも市街化農地について、「防災機能や緑地環境機能など都市の継続のために有用、地域の景観形成、自然教育の場にもなる」と答えてきた。まさに生産者の悲痛な声にこたえることこそが、市の責務ではないのか、生産緑地制度の実施を求める。

【答弁】松浦勝巳建設局長は、「急激な都市化による緑地、農地などの減少が見られない本市の市街化区域内の土地利用の状況においては、直ちにこの制度の導入には至らないと判断している」と生産者の悲痛な声に耳を傾けようとしない、冷たい答弁を行ないました。

◇その他の質問項目◇

○就任３か月が経過した野田内閣への伊東市長の認識を問う。

○保育に市場化、産業化を持ち込み、行政が責任を投げ出す「子ども・子育て新システム」には反対、当局の見解を問う。

○地域建設産業や地域経済にも大きな打撃を与える TPP（環太平洋連携協定）参加は大問題、当局の見解を問う。

この間の主な参加行事、活動です（10～12 月）

- 10/1　倉敷市立柳田保育園運動会
- 10/2　倉敷市立柳田幼稚園運動会
- 10/4　児島地域選出倉敷市議会議員で岡山県備中県民局に対し防災対策で申し入れ
- 10/5　児島宇野津自治会建設残土崩落問題で、倉敷市岡山県備中県民局へ申し入れ同席
- 10/6　日本共産党倉敷市議団９月市議会報告会
- 10/7　土地家屋調査士会倉敷支部研修会
- 10/8～10　どうする復旧・復興！全国交流集会 in みやぎ
- 10/11～12 東日本大震災ボランティアで遠野市へ
- 10/15「どうしたら産廃処分場を止められるか」学習会
- 10/18～20 倉敷市議会総務委員会行政視察
- 10/22 岡山県自治体問題研究所総会
- 10/25 倉敷市議会総務委員会
- 10/27 管理建築士講習会
- 10/29 ﾃﾞﾆﾑ航海路 2011「ﾆｰﾑ～倉敷へ」（美観地区にて）
- 10/30 第 31 回岡山県赤旗祭り
- 10/31 倉敷市来年度予算編成にあたっての要望
- 11/3～7 東日本大震災ボランティアで宮古市へ
- 11/8　日本共産党倉敷地区委員会総会
- 11/10 岡山県備中県民局に対し来年度予算編成にあたっての要望／日本共産党児島中央支部、倉敷市児島支所との懇談に同席
- 11/12 倉敷市立児島市民病院清掃ボランティア
- 11/13 倉敷市社会福祉協議会主催東日本震災ボランティア報告会
- 11/14～15 児島地域選出倉敷市議会議員で行政視察
- 11/16 定例生活相談
- 11/18 倉敷市議会基本条例策定ＷＧ会議
- 11/18～19 日本共産党岡山県地方議員会議
- 11/20 第 45 回倉敷市児島市民運動会
- 11/21 倉敷市議会総務委員会
- 11/22 倉敷市戦没者追悼式
- 11/23 児島マリン・緑丘地区社協合同健康ｳｫｰｷﾝｸﾞ
- 11/24 日本共産党倉敷市議団 11 月市議会前懇談会
- 11/27 水島コンビナート防災を考える市民集会
- 11/28 不当な懲戒処分を受けた消防士を救う会
- 11/30 倉敷市議会 11 月定例会開会（12/16 まで）
- 12/6～9 倉敷市議会本会議一般質問
- 12/6　末田正彦、倉敷市議会本会議一般質問登壇
- 12/12 日本共産党児島中央支部地域ウォッチング
- 12/14 倉敷市議会総務委員会
- 12/16 倉敷市議会 11 月定例会閉会
  倉敷市議会基本条例策定ＷＧ会議
- 12/21～22 倉敷市議会基本条例策定ＷＧ行政視察
- 12/26 南部水道企業団議会